



# fly to the next stage

## 第4回 藤翔祭 開催

2日間で2000余名が来場

7月1日(金)の午後1時から7月2日(土)の午後3時まで開催された藤翔祭、初日は306名、翌土曜日には1701名もの方々に来場していただき、前回の藤翔祭の来場者数1250名を大きく上回り、活況を呈しました。

### 「fly to the next stage」

「次の新しいステージへ」をテーマに、様々な場面で過去3回の藤翔祭にはないような新しい挑戦をしました。象徴ともいえるのは、縦11.25m×横14mの巨大なモザイク壁画です。モチーフは本校理数科のマスコットキャラクター「りすたん」。A3用紙1360枚でできたこの壁画は、全校生徒



モザイク壁画とアーチ

が各々1枚の紙に約2cm角の折り紙330枚を貼り付け、思いを込めて作成しました。また、数理科学科3年5組が制作したアーチの両端には虹をイメージした8色の階段が施されました。



科学実験



キャップアート



書道部展示



模擬店

### 大盛況の催し物、模擬店

多くの方々の方々の来場により、PTAの食堂や模擬店、各クラスや部活動の催し物は大盛況でした。体育館や多目的室では吹奏楽部・和太鼓部の演奏、音楽部のミュージカル、書道部のパフォーマンス、有志のダンス、放送部の放送上映会、ふれあい広場では、軽音楽部・有志バンドの演奏、校庭では野球部招待試合(対新潟県十日町高校、対長野県松代高校)が行われました。イラスト部、書道部、選択授業美術、インターアクトクラブ、陸上部の校内展示やバルーンアート、文芸部の大喜利、図書委員会のトリックアートとビブリオバトルなど、日頃の活動の成果も発揮されていました。定時制企画のバザー・喫茶も大人気でした。

### 巨大迷路・プラネタリウム・劇

クラス企画では、人生ゲーム、水を使わないシンクロ、藤中ゆるきゃらグランプリ、プラネタリウム、科学実験など趣向を凝らしたものが多く、小さな子どもから年配の方まで楽しんでいく様子が印象的でした。一般投票一位は、装飾や仕掛けに工夫が見られた3年3組の巨大迷路でした。

## 新体操部

五十嵐梨沙子さん(3年4組 埼玉神川中出身)  
丑館美音さん(3年4組 塚沢中出身)

## 国体メンバーに選抜

7月2日(土)に平成28年度群馬県体操大会が行われ、個人の部に参加した6名が、それぞれ優秀な成績を収めました。リボンとクラブの総合順位で、五十嵐梨沙子さんが1位、丑館美音さんが3位、野中暖子さん(1年5組 小野中出身)と横瀬莉奈さん(3年3組 埼玉神川中出身)が8位、養田葉奈さん(3年6組 埼玉幡羅中出身)が10位、養田夢叶さん(1年5組 埼玉幡羅中出身)が12位となりました。また、国民体育大会群馬県予選会も同時に行われ、丑館さんと五十嵐さんが群馬県の国体メンバーとして選抜され、8月26日(金)、27日(土)に行われる国体関東ブロック大会に出場が決定しました。県高校総体で初の団体優勝を成し遂げた新体操部。その原動力となった横瀬さん、養田葉奈さんは今大会で引退となります。横瀬さんは「10年間新体操をやってきました。大変なこともありましたが、最後まで諦めずにやり遂げられてよかったです。」と、養田葉奈さんは「5歳から14年間続けてこられたのは、新体操が好きだったからだ」と改めて実感しました。これからは、新体操の経験も生かし進路実現していきたいです。」と晴れやかな顔で語ってくれました。

## 陸上競技部 3名 関東選手権大会へ

群馬県選手権大会が7月1日(金)、2日(土)の2日間にわたって行われました。5000m競走で高橋光晃くん(3年2組 鬼石中出身)と島崎慎愛くん(2年2組 東中出身)の2名と、ハンマー投で森田くるみさん(2年1組 玉村南中出身)が、8月19日(金)〜21日(日)まで千葉県総合運動公園陸上競技場で行われる関東選手権大会に出場することが決まりました。関東大会個人種目で初出場の島崎くんは、「初めてですが、しっかりと準備して14分台の自己新記録目指して、良い走りができるように頑張ります。」と力強く抱負を語ってくれました。



## 3回戦で太田東高校に惜敗

## 野球部 夏の選手権大会へ



7月9日(土)に開幕した第98回全国高校野球選手権群馬大会。初戦は14日(木)に上毛新聞敷島球場で行われた2回戦で、下仁田・万場・長野原連合と対戦しました。当日は、吹奏楽部、生徒会役員、さらには、多くの生徒が球場に駆けつけ、吹奏楽部の演奏に合わせ大きな声で応援しました。ピッチャーはエースの布施川広樹くん(3年2組 北中出身)。初回到4点先行されましたが、その後は踏ん張り0点で抑えます。攻撃陣は3回まで無得点が続きましたが、4回に1年生の鈴木優典くん(1年3組 北中出身)、門馬亮くん(1年5組 北中出身)の連打でランナー

を溜めると、代打片山珠希くん(3年1組 玉村南中出身)がレフトオーバーを放ち得点。その後も打線が繋がりがり4点を奪い同点。6回にも連打で5点。さらに、7回にも連打で2点を奪い、11対4でコールドゲームが適用されました。

3回戦は7月17日(日)14時から上毛新聞敷島球場で行われた対太田東高校戦。初回到1死2塁のピンチを投手ゴロで切り抜けたかと思いましたが、そこから2連打を浴びて2点を先制されます。結果的にはこの2点が決勝点となり、0対2で敗戦してしまいました。しかし、連日残り練習をしていた副キャプテンの中里純くん(3年3組 東中出身)が攻守にわたり活躍を見せ、選手全員で2回以降を守り抜く粘りの野球を見せてくれました。連日の練習で毎日百球も投げてくれた下風博三くん(3年1組 小野中出身)など陰で支えてくれた3年生も多くいました。1、2年生も先輩達の後を継ぎ、新チームも粘り強く頑張っていると思います。